



2024年度 彦根市防災訓練

外国人住民のみなさんが「彦根市防災訓練(避難所開設運営訓練)」に参加しました！

避難所運営訓練説明



2024年10月20日(日)に彦根市防災訓練が実施され、鳥居本小学校の体育館で『避難所』を開設・運営する訓練に、合計10名の外国人住民のみなさんも参加されました。当日は、避難所を運営するために、役割ごとの班に分かれて、訓練を行いました。

避難所でのルールを作成



仮設トイレの設営



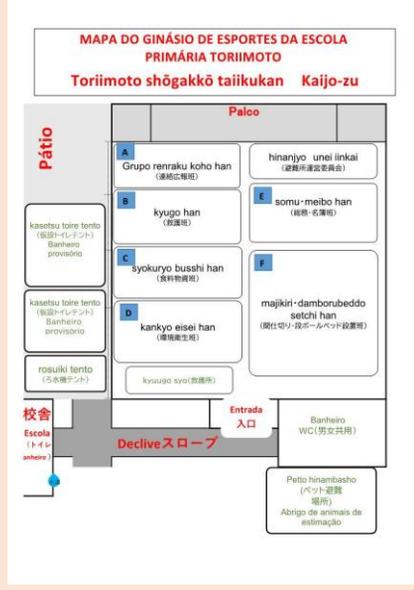
間仕切り・段ボールベッド設置



AEDを使用した応急救護 など

言語のサポート

- 「やさしい日本語」基本ルール
- 一文を短くして、文の構造を簡単にする。
 - 難しい言葉避け、簡単な言葉を使う。
 - 災害時によく使われる言葉や、知っておいたほうがよいと思われる言葉は、そのまま使う。その言葉の後に、かっこ書き(=)で意味を補足する。
 - 外来語(カタカナ語)はなるべく使わない。使うときは注意する。
 - 擬態語や擬音語は避ける。
 - 動詞を名詞化したものは分かりにくいので、できるだけ動詞文にする。
 - あいまいな表現は避ける。
 - 二重否定の表現は避ける。
 - 文末表現はなるべく統一する。
 - ローマ字は使わない。
 - 時間や年月日を外国人にもわかる表記にする。
 - 漢字の使用量に注意する。すべての漢字にふりがなをふる。
 - 文は、文節ごとに「分ち書き(余白を空けて区切る)」にして、言葉のまとまりを認識しやすくする。
 - 絵、写真、図表などを使って分かりやすくする。
- 出典：『静岡県『やさしい日本語』の手引き』
この基本ルールは、弘前大学人文社会科学部社会言語学研究室作成の『やさしい日本語』に
するたの12の原則)を参考に作成されています。



日本人住民には「やさしい日本語の基本ルール(出典:『静岡県『やさしい日本語』の手引き』)を活用してもらい、外国人住民と協力して訓練を行いました。また、会場図は、ポルトガル語・英語・中国語で翻訳しました。

外国人住民のみなさんは、地域住民の参加者と協力しながら、積極的に訓練に参加されていました。彦根市では、毎年防災訓練を実施しています。災害は、いつ発生するかわかりません。訓練に参加したり、家族で家の近くの避難所の場所を確認したりするなど、日頃から災害に備えましょう！